

メールマガジン [産総研 Topics!] Vol.5 No.22、No.23
より抜粋

プレスリリース

11/12発表

超高精細映像を自在に重ね合わせできる処理装置を開発
(ポイント)
複数の高精細入力映像の位置やサイズを自在にレイアウト可能
スクリーンのディスプレイ出力数を大幅に増加できる
複数のディスプレイを用いた巨大スクリーンを構成可能
http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2007/pr20071112/pr20071112.html

11/19発表

単結晶マンガン酸リチウムのナノワイヤーを作製
(ポイント)
スピネル単結晶マンガン酸リチウムナノワイヤーの合成に成功
コバルトではなくマンガンを使用、低コストで電気自動車用への
利用が期待される
高速で充放電が可能なりチウムイオン電池の低コスト正極として
有望
http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2007/pr20071119/pr20071119.html

11/21発表

電氣的に鏡状態と透明状態を切り替えられる調光ミラーフィルム
を開発
(ポイント)
数ボルトの電圧により鏡状態と透明状態を切り替えられる
薄膜を積層し、厚さ100マイクロメートルのフレキシブルな調光ミ
ラーフィルムを実現
窓ガラスに貼り付けるだけで、日射を効果的に制御することができ、
冷房負荷を軽減
http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2007/pr20071121/pr20071121.html

11/26発表

スピン注入トルクの直接測定に成功
(ポイント)
次世代MRAMの開発を加速する新しい評価技術を確立
本成果によりスピン注入トルクの定量的評価が可能になり、スピ
ンRAMの開発が加速される
http://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2007/pr20071126/pr20071126.html

最近の研究成果

産総研広報誌(産総研TODAY)から最近の研究成果を紹介します。
・自動車運転中に携帯電話を使う危険性について
・外部光源なしで光る、蛍光タンパク質
・日射熱反射ガラス用の波長選択性コーティング
・北斎も使った顔料をナノ粒子化し、調光ガラスを作製
他
http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol07_12/vol07_12_main.html

特許紹介(技術移転)

気相OHラジカル反応の反応速度を測定する方法
OHラジカルを高濃度で生成する方法を開発し、反応速度の測定下
限を2桁向上することに成功しました。広範なVOCについて信頼性
の高い環境影響評価を可能にしました。

[適用分野]

大気化学
大気環境影響評価

http://www.aist.go.jp/aist_j/research/patent/2007/12_1/index.html

光による応力のダイレクトな遠隔測定方法
応力を、電気信号に変換することなく応力発光体を用いてダイレ
クトに光信号に変換し、光ファイバーを用いて遠隔地へ伝送する
ことができます。

レーザー光の入射を必要とせず、パッシブなセンシングが可能です。

[適用分野]

構造物などの応力センシングデバイス
スイッチングデバイス インターフェース

http://www.aist.go.jp/aist_j/research/patent/2007/12_2/index.html

イベント

「2007国際ロボット展」に産総研が出展します。
http://www.aist.go.jp/aist_j/event/ev2007/ev20071130_3/ev20071130_3.html

産総研ナノバイオ分野人材養成ユニットシンポジウム
日時: 12月18日(火) 13:00 ~ 17:20
会場: 秋葉原ダイビル 2階 秋葉原コンベンションホール
参加費: 無料
http://www.aist.go.jp/aist_j/event/ev2007/ev20071218_2/ev20071218_2.html

お知らせ

広報誌(産総研TODAY:12/1発行)を掲載しました。
特集: 本格研究 理念から実践へ ほか
http://www.aist.go.jp/aist_j/aistinfo/aist_today/vol07_12/vol07_12_main.html

平成18年度産業技術総合研究所年報を掲載しました。
http://www.aist.go.jp/aist_j/outline/annual_report/h18/h18_annual_report.html

広範な用途が期待できる有機ナノチューブの早急な普及を目指して
産業界への普及を促進するため有機ナノチューブの共同研究に関
して公募型共同研究という新しい企業連携形式を採用
同時並行的な共同研究の推進により、研究成果の社会への早急な
普及を狙う
http://www.aist.go.jp/aist_j/announce/au2007/au1119/au1119.html

産総研データベースポータルを更新しました。
http://www.aist.go.jp/aist_j/database/portal/index.html

メールマガジン[産総研 Topics!]は、産総研ホームページより申し込みます。
産業技術総合研究所ホームページ
[<http://www.aist.go.jp/>]